



三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

<円コース>(毎月分配型)、<米ドルコース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<トルコリラコース>(毎月分配型)、
<中国元コース>(毎月分配型)、<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

足下の投資環境と今後の見通し

ファンド情報提供資料／データ基準日：2020年3月11日

- 本資料はピムコジャパンリミテッドの資料を基に作成しています。
- 「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」は、10の通貨コースとマネープールファンドの計11本のファンドから構成される投資信託です。本資料では、これらを総称して「当ファンド」ということがあります。また当ファンドの10の通貨コースを総称して「各通貨コース」または「各コース」ということがあります。

平素より、「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

足下の相場下落を中心に、各通貨コースの運用状況についてご報告いたします。

今後とも、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年初来の投資環境と各通貨コースの運用状況

【年初来の投資環境】

2020年初来の新興国債券市況は、米国金利が低下したことがプラスに寄与したものの、スプレッド(米国国債との利回り格差)が拡大したことがマイナスに影響し、下落しました。この背景として、新型コロナウイルス感染症(以下、新型肺炎)の感染拡大により世界的な景気減速懸念が高まったことや、OPEC(石油輸出国機構)プラスにて減産合意に至らなかったことを背景に原油価格が暴落したこと等を受けて、市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことが影響していると考えています。国・地域別で見ると、市場参加者のリスク回避姿勢が強まる中、ファンダメンタルズ(経済の状況)に問題があり、3月上旬にデフォルト(債務不履行)を宣言したレバノンや、ファンダメンタルズの悪化を背景とした主要格付会社による格下げや原油価格の暴落等を背景にエクアドルが大きく下落しました。

【各通貨コースの運用状況】

各通貨コースの運用では、外国投信への投資を通じて新興国債券を高位に組み入れていた結果、新興国債券市況が下落したこと等が基準価額へマイナスに影響しました。また、円コースを除く各通貨コースにおける対象通貨は、市場参加者のリスク回避姿勢が強まり円買いが進んだこと等を背景に、すべての通貨が対円で下落しました。以上のことから、基準価額はすべての通貨コースで下落しました。なお、当ファンドではレバノンおよびエクアドルを消極姿勢としていたため、両国の債券価格の大幅な下落による影響は市場平均と比較して軽微なものとなりました。

各通貨コースのパフォーマンス

通貨コース名	年初来のパフォーマンス*	下落局面のパフォーマンス*	【ご参考】下落局面の 為替レート(対円)の騰落率
円コース	-1.7%	-4.4%	—
米ドルコース	-6.5%	-11.3%	-6.3%
ユーロコース	-5.4%	-7.0%	-2.6%
豪ドルコース	-13.5%	-13.4%	-8.3%
ブラジルリアルコース	-18.6%	-16.5%	-14.7%
南アフリカランドコース	-17.7%	-16.2%	-13.1%
トルコリラコース	-7.6%	-11.3%	-8.0%
中国元コース	-5.8%	-10.1%	-5.3%
インドネシアルピアコース	-8.5%	-14.0%	-10.2%
資源国バスケット通貨コース	-16.6%	-15.4%	-12.0%

* 年初来のパフォーマンスは2019年12月30日と2020年3月11日の基準価額、下落局面のパフォーマンスは2020年2月21日と3月11日の基準価額を用いて計算しています。・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・分配金実績がある場合は、ファンドの騰落率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・実際のファンドでは、課税条件によってお客様ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・資源国バスケット通貨の為替レート(対円)の騰落率は、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドの騰落率の平均値です。(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

<円コース>(毎月分配型)、<米ドルコース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<トルコリラコース>(毎月分配型)、
<中国元コース>(毎月分配型)、<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

今後の投資環境見通しと各通貨コースの運用方針

【投資環境の見通し】 世界経済については、新型肺炎の感染拡大によって短期的な景気減速が見込まれます。しかし、主要国において金融緩和政策、財政政策等が検討・発動され景気の下支え効果が期待されるなか、新型肺炎の感染拡大が収束に向かう局面では市場心理が回復するものと考えています。ただし、現在も感染者数の増加が続いており情勢は流動的であるため、今後の状況を見極めつつ景気や金融市場への影響を注意深く判断していきます。新興国については、貿易面での結びつきが強い中国の景気減速の影響を先進国以上に強く受ける可能性があるかとみています。ただし、多くの新興国では先進国に比べて金利水準が高いことから利下げの余地が大きい点は、景気の下支えになるものとみています。

【各通貨コースの運用方針】 こうした見通しの下、新興国への投資に関しては、各国の経済政策等とその成果を見極め、投資国を選別することが重要と考えています。具体的には、ロシアは地政学リスク等に注視する必要があるものの、経済成長率が改善していること等から積極姿勢とする方針です。また、ウクライナは2019年5月に就任したゼレンスキー大統領の政策に期待が高まっていること等から積極姿勢とする方針です。一方、中国やフィリピン、マレーシアなどのアジア諸国については、新型肺炎の感染拡大による景気減速が懸念されること等を鑑み、消極姿勢とする方針です。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

各通貨コースの基準価額等の推移

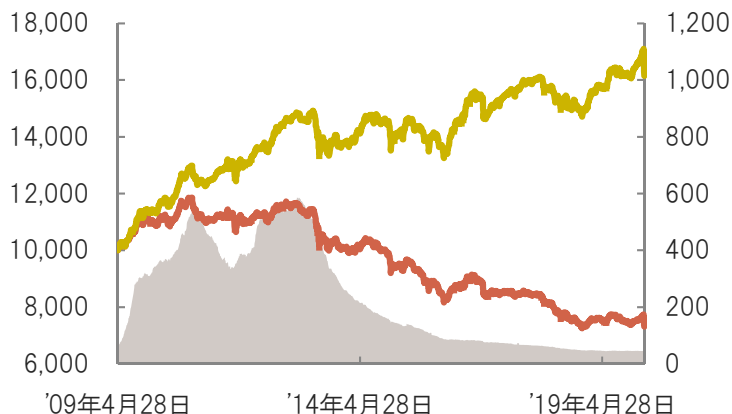
— 基準価額(円)【左軸】

— 基準価額(分配金再投資)(円)【左軸】

— 純資産総額(億円)【右軸】

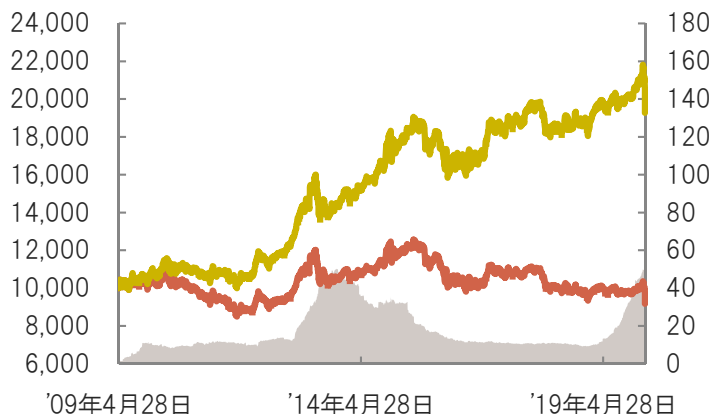
円コース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



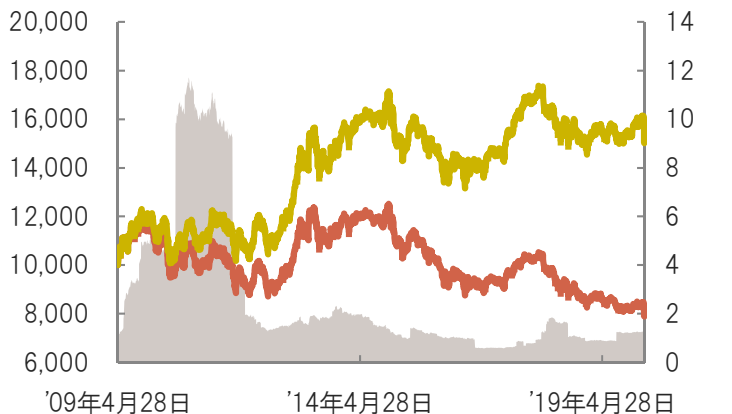
米ドルコース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



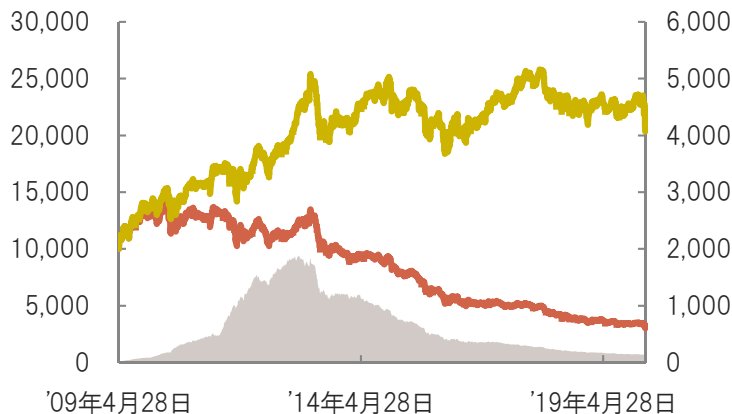
ユーロコース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



豪ドルコース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

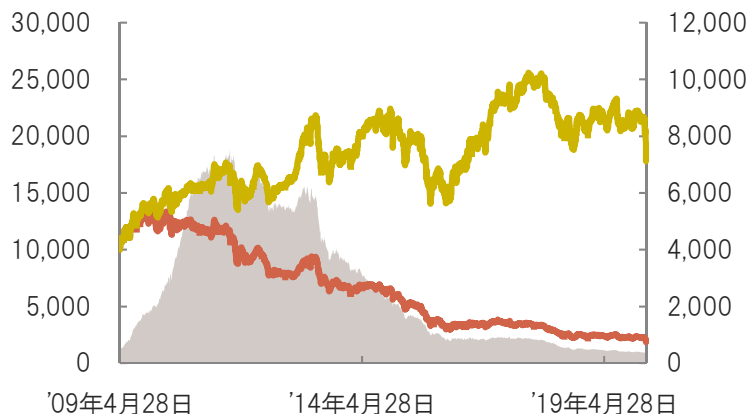
<円コース>(毎月分配型)、<米ドルコース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、
 <ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<トルコリラコース>(毎月分配型)、
 <中国元コース>(毎月分配型)、<インドネシアピアコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

各通貨コースの基準価額等の推移(前ページつづき)

— 基準価額(円)【左軸】 — 基準価額(分配金再投資)(円)【左軸】 — 純資産総額(億円)【右軸】

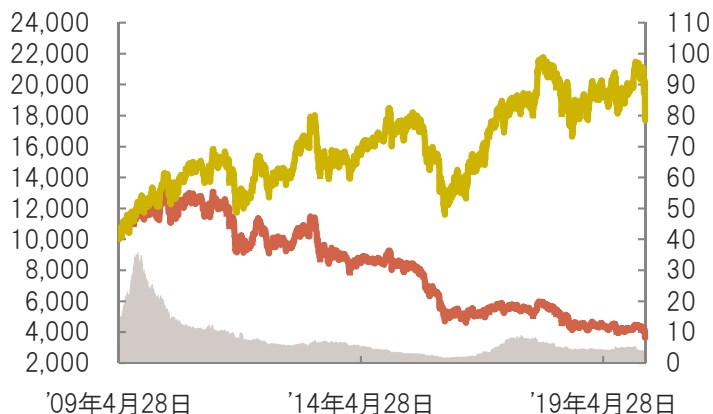
ブラジルリアルコース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



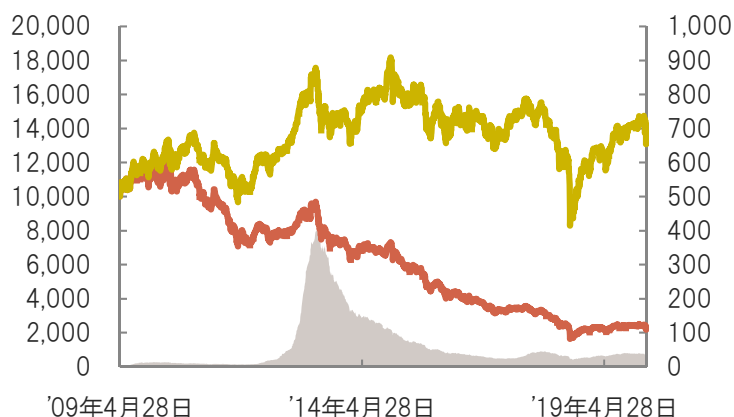
南アフリカランドコース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



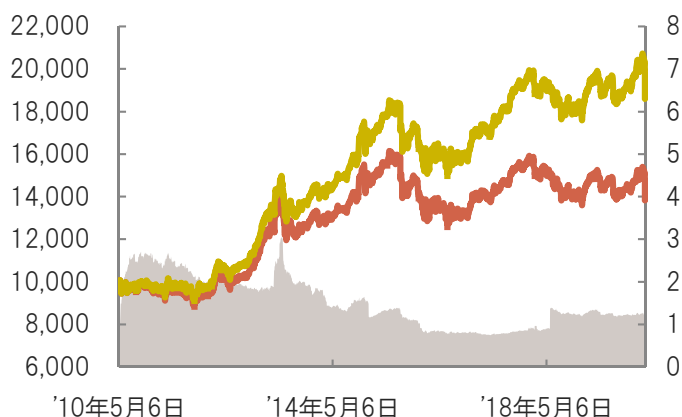
トルコリラコース

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年3月11日)



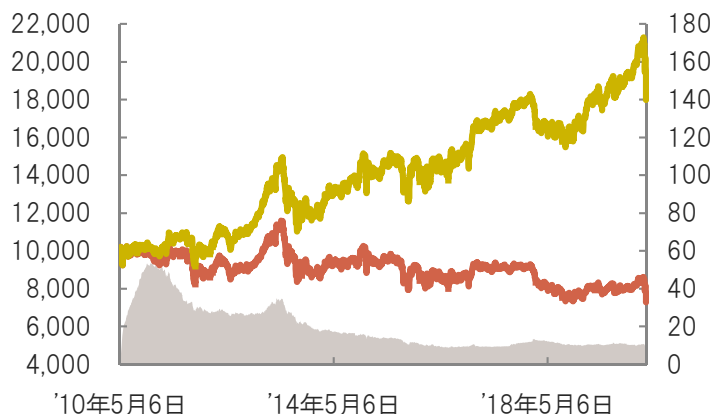
中国元コース

(期間:2010年5月6日(設定日)~2020年3月11日)



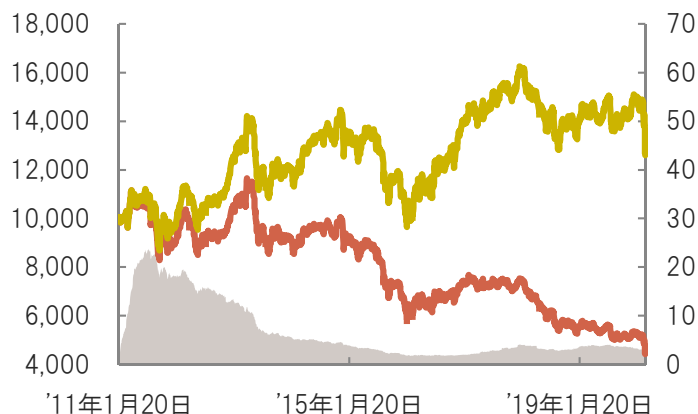
インドネシアピアコース

(期間:2010年5月6日(設定日)~2020年3月11日)



資源国バスケット通貨コース

(期間:2011年1月20日(設定日)~2020年3月11日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

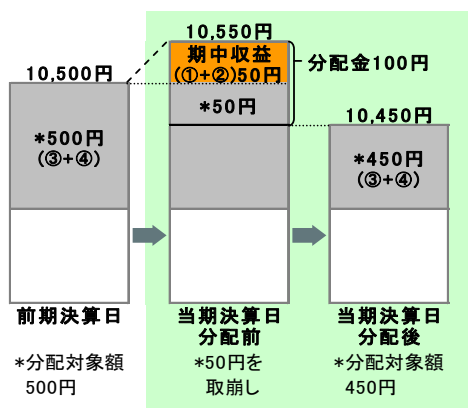


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

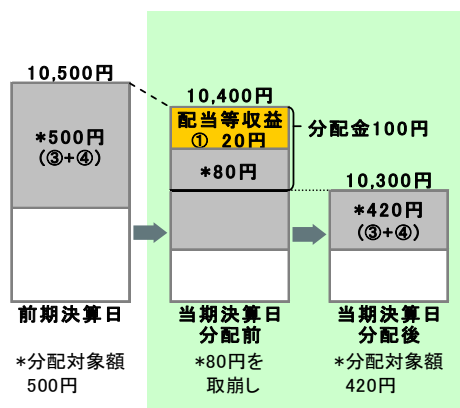
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



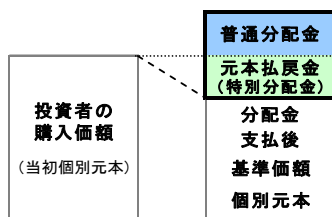
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

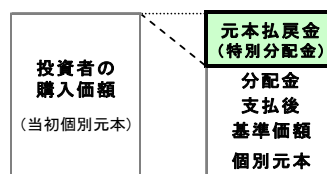
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

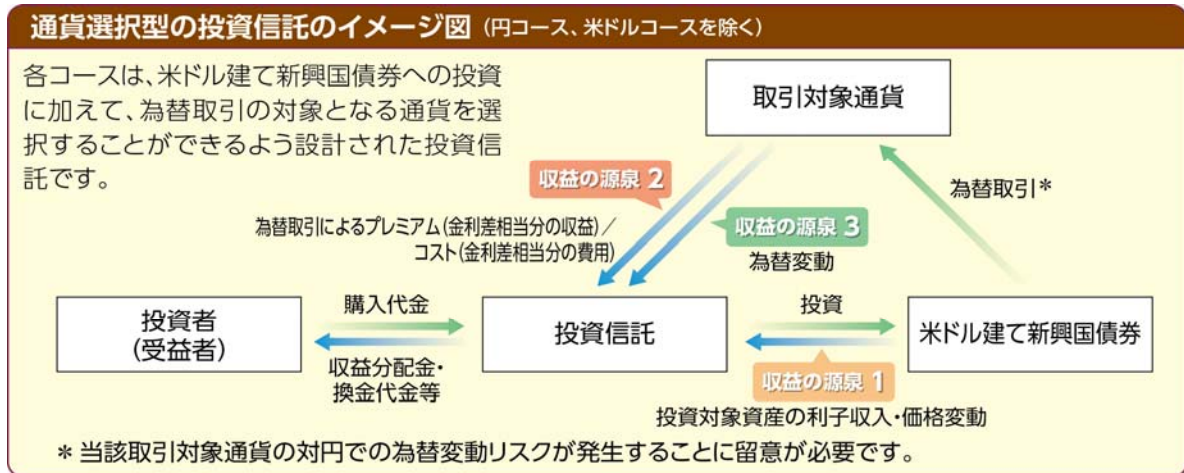
【金額を指定して購入する場合】(購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

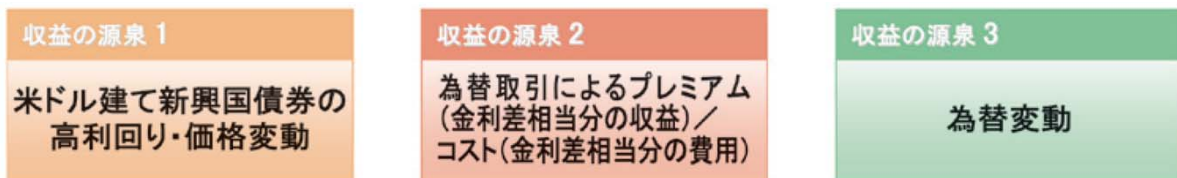
【口数を指定して購入する場合】

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

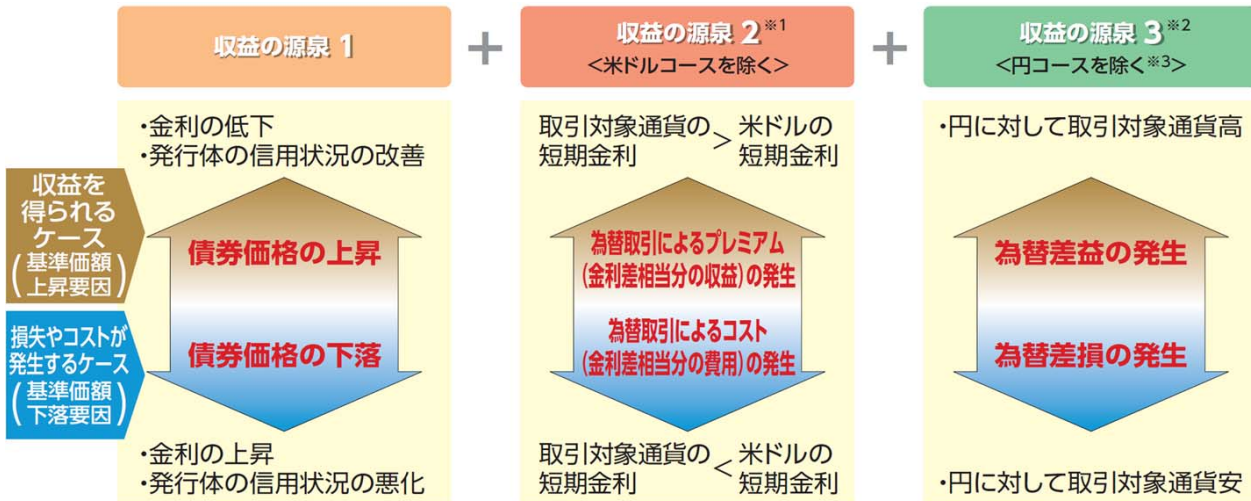


各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



※1 円コースにおいては、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)が生じます。

※2 米ドルコースでは、米ドルが対円で上昇(円安)した場合は為替差益が、米ドルが対円で下落(円高)した場合は為替差損が発生します。

※3 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

・為替市場の状況によっては、為替ヘッジおよび為替取引によるプレミアム / コストが、金利差相当分からカイ離する場合があります。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」は、以下の10本の通貨コースとマネーボールファンドの11本のファンドで構成される投資信託です。

＜円コース＞（毎月分配型）	／ ＜米ドルコース＞（毎月分配型）
＜ユーロコース＞（毎月分配型）	／ ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）
＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型）	／ ＜南アフリカランドコース＞（毎月分配型）
＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	／ ＜中国元コース＞（毎月分配型）
＜インドネシアルピアコース＞（毎月分配型）	／ ＜資源国バスケット通貨コース＞（毎月分配型）
＜マネーボールファンド＞	

「10本の通貨コース」について

■ファンドの目的

各コースは、米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。

■ファンドの特色

特色1 各コースは、主として米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とします。

・主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興経済国の国債や政府機関債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

特色2 各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国債券に投資を行う一方で、それぞれ以下の為替対応を行います。

*円コース（毎月分配型）：原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

⇒「為替ヘッジによるプレミアム（金利差相当分の収益）またはコスト（金利差相当分の費用）」が生じます。

*米ドルコース（毎月分配型）：原則として対円での為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。

⇒「為替差益または差損」が生じます。

*上記以外の各コース：対円での為替ヘッジを行わず、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行うため、各コースの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

⇒「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）またはコスト（金利差相当分の費用）」、「為替差益または差損」が生じます。

・為替取引とは、円コース、米ドルコース以外の各コースにおいて、為替予約取引等*を利用することにより、米ドル売り、各コースの対象通貨買いを行うことをいいます。為替取引を行うことにより、各コースの対象通貨ベースでの新興国債券への投資効果を追求します。

*為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF（ノン・デリバブル・フォワード）取引」*を利用する場合があります。

※NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引（デリバティブ取引）です。NDF取引では、市場の期待値（需給）や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）は、理論上期待される短期金利差から大きくカイ離する場合があります。

＜為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）について＞

・各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）」の獲得が期待できます。一方、各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）」が生じます。円コースにおいては、上記同様、対円での為替ヘッジによるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）が生じます。

*ただし、為替市場の状況によっては、為替ヘッジおよび為替取引によるプレミアム／コストが、金利差相当分からカイ離する場合があります。

＜為替の変動＞

・各コースの基準価額は、為替相場が各コースの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

*資源国バスケット通貨コース（毎月分配型）においては、3通貨（豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド）への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつからカイ離する場合があります。

特色3 各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

特色4 各コースは、原則として毎月20日に決算を行います。

・原則として、毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

ファンドの目的・特色

■ファンドの仕組み

・ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

＜投資対象ファンド＞

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J JPY(円) (円コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J USD(米ドル) (米ドルコースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J EUR(ユーロ) (ユーロコースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J AUD(豪ドル) (豪ドルコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J BRL(ブラジルレアル) (ブラジルレアルコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J ZAR(南アフリカランド) (南アフリカランドコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J TRY(トルコリラ) (トルコリラコースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J CNY(中国元) (中国元コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J IDR(インドネシアルピア) (インドネシアルピアコースが投資します。)

マネー・マーケット・マザーファンド

※販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

「マネープールファンド」について

■ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

特色1 ファミリーファンド方式によりマネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

特色2 年2回の決算時(4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

・運用は主にマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

「スイッチング」について

・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

・マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各ファンドからのスイッチングの場合に限定します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

各ファンド(マネープールファンドを除く)

価格変動リスク 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

■円コース

組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対円で為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替ヘッジによるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

■米ドルコース

組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いませんので、対円で為替変動の影響を大きく受けます。

■ユーロコース ■豪ドルコース ■ブラジルリアルコース ■南アフリカランドコース ■トルコリラコース

■中国元コース ■インドネシアルピアコース

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円で為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

■資源国バスケット通貨コース

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円で為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリー・リスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

投資リスク

マネープールファンド

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

・投資環境によっては、マイナス利回りの公社債や金融商品等での運用となることがあり、この場合、基準価額の下落要因となりますのでご注意ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限りです。 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ■各ファンド(マネーボールファンドを除く) ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	■各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、 重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉 鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購 入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ■マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止するこ と、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	■円コース(毎月分配型)／米ドルコース(毎月分配型)／ユーロコース(毎月分配型)／豪ドルコース(毎月分配型)／ブラ ジルリアルコース(毎月分配型)／南アフリカランドコース(毎月分配型)／トルコリラコース(毎月分配型)／マネーボール ファンド 2024年4月19日まで(2009年4月28日設定) ■中国元コース(毎月分配型)／インドネシアルピアコース(毎月分配型) 2024年4月19日まで(2010年5月6日設定) ■資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) 2024年4月19日まで(2011年1月20日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が 50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	■各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) ■マネーボールファンド 毎年4・10月の20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	■各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 ■マネーボールファンド 年2回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償 還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度) の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を ご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

手続・手数料等

■ファンドの費用

各ファンド（マネープールファンドを除く）

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%（税抜 3%）**（販売会社が定めます）
（購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。）

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） 日々の純資産総額に対して、**年率1.672%（税抜 年率1.52%）**をかけた額
各ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用（信託報酬）は上記と同じです。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

マネープールファンド

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） 毎月の最終営業日（委託会社の営業日をいいます。以下同じ。）の翌日から、翌月の最終営業日までにかかる運用管理費用（信託報酬）は、当該各月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じて、
日々の純資産総額に対して、**年率0.605%（税抜 年率0.55%）以内**をかけた額
くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社（ファンドの運用の指図等）

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

●受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社阿波銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社伊予銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
auカブコム証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社紀陽銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○			
ごうぎん証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
株式会社山陰合同銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社滋賀銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
四国アライアンス証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社十六銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
株式会社南都銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
株式会社百十四銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。